Jトラスト

韓国事業開始

Jトラストグループの KCカードが韓国に設立した「親愛（本社韓国ソウル市）」は十月五日、韓国金融委員会から貯蓄銀行業の認可を取得し、あわせて未来貯蓄銀行との契約移転決定がされた。この契約移転決定に基づき、未来貯蓄銀行の承継対象資産及び負債を承継する。

親愛は五日付で商号を「親愛貯蓄銀行」に変更、十二日に貯蓄銀行業務を開始した。承継する資産は四千五百九十九億ウォン（うち流動資産四千三百八十七億ウォン）、負債は一兆六千三百二十億ウォン（五月五日現在、実際の承継金額は異なる可能性がある）。

未来貯蓄銀行は五月六日付で不良金融機関の決定及び六カ月間の営業停止を含む経営改善命令を受けていたが、預金保険公社による入札手続で七月十九日付でJトラストが優先交渉者として選定された。

その後の協議で具体的なスキームについて合意。Jトラストでは、日本国内における金融機関との保証事業やクレジットカード事業などで培ったノウハウを最大限に活用し、金融事業の営業基盤の拡大、収益力の向上を図るとともに、韓国の中小企業を中心とした多様なニーズに対する金融サービスの拡充を行うとしている。

なお、親愛貯蓄銀行の業務開始にあたり、Jトラストの千葉信行代表取締役副社長が常勤理事として貯蓄銀行の経営に専念する。このため、千葉副社長はJトラスト、KCカード、ネオラインクレジット貸付の代表取締役を五日付で辞任した（Jトラスト、KCカードは非常勤取締役、ネオラインクレジット貸付は取締役も辞任）。Jトラストは代表取締役二名体制から藤澤信義社長一名体制で業務を執行する。

▽親愛貯蓄銀行株式会社概要

本店所在地　大韓民国ソウル特別市瑞草区瑞草洞一三三一

代表者　代表理事ユン・ビョンムク

資本金　六百二十億ウォン（約四十二億七千八百万円）

従業員数　約三百八十五名

営業支店数　十五支店